

箱根神社御鎮座一二七〇年奉祝記念事業 募財修了のご報告

謹啓 大寒の候 愈々ご清祥の段慶賀に存じます

陳者 令和七年元旦より進発致しました箱根神社御鎮座一二七〇年奉祝記念事業につきましては格別なる御高配を賜りましたこと洵に有難く厚く御礼申し上げます  
御蔭をもちまして皆様からの赤誠溢る御篤志により 奉贊募財金額は目標を遥に越え  
予定の一月末日を以ちまして募財期間を恙無く修める事と相成りました

本年三月末の事業完遂に向けて 引続き皆様と共に邁進して参る所存でございますので  
弥増のご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます

時節柄 皆様方の御健勝と益々の御發展を祈念申し上げ 先ずは右略儀ながら寸書を  
以て御礼の御挨拶旁々募財修了のご報告まで申し上げます

令和八年二月一日

敬白

箱根神社 宮司 小澤修



# 奉祝

# 御鎮座一二七〇年奉祝記念事業ご奉賛のお願い

今春元旦、当神社御鎮座一二七〇年を奉祝する記念事業を発願致しました。

『御成敗式目』誓願神社の最初に名を連ねる当箱根神社では、第一条に定められる「神社を修理し、祭祀を専らにすべきこと」即ち「御社殿をそして境内を整え、神祭りをしつかりやらなくてはいけませ

ん。そうすることで神々の御加護のもと、日本の国の発展と、国民の幸福はいつまでも続くのですから」と、これに続く「神は人の敬

によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」即ち「神様は私

共の尊崇・感謝と祈願をお受けになられて御威光を輝かされ御神威を高められます。私共は、力を増

された神様の御神徳即ち、生きる力・元気の源をいただいて幸せに進んで行けるのです。」

この先の最終整備事業として十

年後に予定しております御屋根葺替と拝殿内部改修及び向拝改築に加え、第三駐車場他境内及び施設各所の整備事業でございま

たが、昨年秋に御本殿両脇にある浜縁高欄の腐食が発覚し、その全面修造が急務となりました。

よつて今般御本殿浜縁高欄の修造に併せ、懸案の前述事業を加えて、

今後の震災対応やバリアフリーを更に発展させた、より強固で今以上に景観も整い、ご参拝の皆様の利便を

増し、更には神社の尊厳をいよいよ高める最終整備事業として発願した

ものであります。

皆様には、重なるご奉賛のお願いにて誠に恐縮に存じますが、最終整備事業の完遂に向けて格別なご高配を賜り、赤誠溢るゝ真心で、ご一緒に御社殿並びに境内を整え、神祭りを奉修して日本の國と國民の安寧発展をご祈念下さい

ますよう、奉祝記念事業ご奉賛のお願いを申し上げる次第でござい

ます。



拝殿内部改修



御鎮座一二五五年より八期十一年に亘る奉祝事業を発願し、皆様方の格別なる御篤志による御支援のもと共に歩みを進めて参りました処、お蔭様にて御鎮座一二六年を迎えた令和四年十月めでたく完遂する事が叶いました。

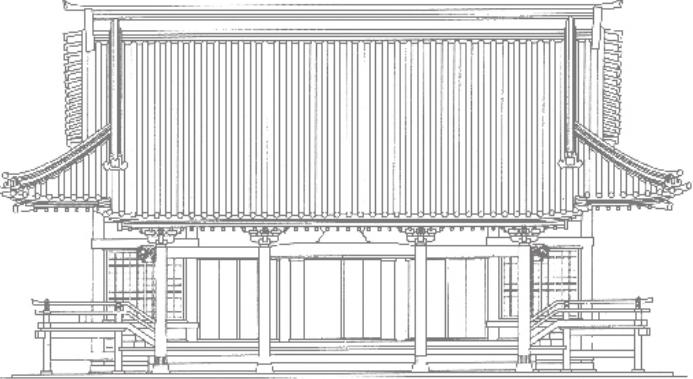
十一年かけて整えて参りました本記念事業は、これを修しまして、令和八、九年に迎える伊勢の御遷宮「御木曳行事」への宮のご奉賛に進む所存です。

皆様には今回もまた、ご一緒に整備事業の納めとして発願進発致しました。但し、石柱の本数が三十八本と限られておりますので、刻銘が正面と両側面になる場合もございます事を何卒ご了承願います

また、前述事由により先着順とさせていただきますので、洵に恐縮乍ら、よろしくお願い申し上げます。

令和七年元旦  
箱根神社宮司 小澤修二  
責任役員 川邊隆夫  
責任役員 川口延明  
責任役員 杉山幹雄  
責任役員 村瀬幸男  
箱根神社総代 同

## 御社殿正面向拝の改築



御本殿両側高欄・浜縁の修造

## ◇ ご奉賛について

### 総事業額

一、金参億円也（内奉賛募財目標額金一千万円也）

### 事業内容

御本殿浜縁高欄修造・御社殿御屋根葺替・拝殿内部改修・向拝改築・職員職舍新築・九頭龍本宮休憩所全面改修・石玉垣新設・記念碑建立・第三駐車場他各所の境内及び諸施設の整備

### ご奉賛金

一口金一万円也

一、金一千万円以上 ご芳名を記した芳名簿を御神前に安置・祈願し永久保存致します

一、金五万円以上 右芳名簿祈願を奉修し、ご芳名を石玉垣並びに記念碑に刻銘致します。（金壱百万円以上の方は記念碑の刻銘が異なります）

御本殿浜縁高欄修造・御社殿御屋根葺替・拝殿内部改修・向拝改築・職員職舍新築・九頭龍本宮休憩所全面改修・石玉垣新設・記念碑建立・第三駐車場他各所の境内及び諸施設の整備

申込用紙にご記入の上、ご奉賛金を添えてお申込み願います

令和八年一月末日までにお申込み願います

事業完了後は、令和八年三月末日の予定です

①さがみ信用金庫湯本支店 普〇〇五〇五一六  
□座名 宗教法人箱根神社  
②スルガ銀行箱根支店 普六六八三〇〇  
□座名 宗教法人箱根神社

御本殿両側高欄・浜縁の修造



\*奉祝記念事業の工事中は、皆様のご参拝に際しご迷惑をおかけ致します。  
事があるうかと存じますが、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます



記念碑の建立

\*第一、第二次記念碑の横に新たに建立し、ご芳名は背部にセラミック陶板で刻ませて戴きます

お進みいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、事業工程は令和七年四月一日～八年三月末日を予定しており、工期内、令和七年八月中旬以降同

年十一月末までの約四ヶ月間は、恒例祭並びに御祈祷は儀式殿にて斎行し、結婚式は神楽殿でのご奉仕となります。

ご一緒にお進みいただきました皆様方の格別なる御篤志に、衷心より厚く御礼申し上げる次第でございます。

この先の最終整備事業として十

年後に予定しております御屋根葺替と拝殿内部改修及び向拝改築に加え、第三駐車場他境内及び施設各所の整備事業でございま

たが、昨年秋に御本殿両脇にある浜縁高欄の腐食が発覚し、その全面修造が急務となりました。

よつて今般御本殿浜縁高欄の修造に併せ、懸案の前述事業を加えて、

今後の震災対応やバリアフリーを更に発展させた、より強固で今以上に景観も整い、ご参拝の皆様の利便を

増し、更には神社の尊厳をいよいよ高める最終整備事業として発願した

ものであります。

皆様には、重なるご奉賛のお願いにて誠に恐縮に存じますが、最終整備事業の完遂に向けて格別なご高配を賜り、赤誠溢るゝ真心で、ご一緒に御社殿並びに境内を整え、神祭りを奉修して日本の國と國民の安寧発展をご祈念下さい

ますよう、奉祝記念事業ご奉賛のお願いを申し上げる次第でござい

ます。